



ハイライト

- x86 サーバーのサポートで、ハイブリッド・クラウドとストレージ環境の柔軟性を改善
 - ストレージ・タイプに関係なく、オンプレミスとクラウド・ストレージの一貫した管理を実現
 - ハイブリッドクラウド機能により、あらゆるタイプのオンプレミス・ストレージを補完
 - ソフトウェアベースの暗号化でデータ・セキュリティを改善
 - ストレージの機能、経済性、柔軟性を強化
-

IBM Spectrum Virtualize ソフトウェア

クラウド環境に対応する基本ソフトウェアで柔軟性をさらにアップ

今日の企業にとって、急増するデータ量のスペースを見つけることは重要な問題ですが、データの課題はそれだけではありません。最近の調査によれば、多くの企業が「バックアップ/障害復旧機能の向上」および「コスト削減」をストレージ関連のニーズの上位に挙げています。また同調査では、75 パーセントがこれらの目標を達成するためにクラウド・サービスへの投資を増やす計画だと回答しています。つまり、データを保管、管理、保護する方法は、データに割り当てる容量の決定と同じくらい重要になる可能性があります。

こうした機能や容量のニーズを満たすために、ソフトウェア定義型ストレージに注目する企業がますます増えています。ただし、ソフトウェア定義型ストレージ、つまり“仮想化”ストレージの導入は今でも仮想化サーバーほど普及しているとは言えません。それは、多くのユーザーが、ソフトウェア定義型ストレージがもたらすメリットに気付いていないためです。そのようなメリットには、効率的な運用、コスト節約、セキュリティの向上、およびクラウドベースのバックアップと災害復旧などが挙げられます。



IBM® Spectrum Virtualize™ を使用すると、ビッグデータ分析と新しいコグニティブ・ワークロードに利用される膨大な量のデータを適切に管理、保護することができます。IBM SAN Volume Controller (SVC)、IBM Storwize® ファミリーのストレージ・ソリューション、IBM FlashSystem® V9000、VersaStack™ で長年にわたって利用されてきた実証済みの製品であり、150,000 以上のシステムが IBM Spectrum Virtualize を稼働しています。これらのシステムは、7.2 エクサバイト以上のデータを管理しながら、ファイブナインを超える可用性を達成しています。²

IBM は、ソフトウェア定義型ストレージのメリットを達成しやすくしています。IBM Spectrum Virtualize はソフトウェア専用ソリューションとして、x86 サーバーで利用可能になりました。

IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアは、次のような幅広い高度なストレージ機能を提供します。

- 幅広いベンダーによる 440 種以上のストレージ・システムに対応
- シン・プロビジョニングによるストレージ・プーリングと自動割り当て
- IBM Easy Tier® 自動階層化
- 高度なデータ削減により、最も要求の厳しいアプリケーションの場合でも、最大 5 倍多くのデータを保存することが可能³
- 現行ストレージ上のデータのセキュリティを向上させるソフトウェアの暗号化
- ローカルおよびリモート・レプリケーションのための IBM FlashCopy® およびリモートミラー
- クラウド・ストレージの使用をサポートすることで、オンプレミス・ストレージを補完

- 無停止アプリケーションとデータセンター間のデータ移動のための IBM HyperSwap®
- VMware、Microsoft Hyper-V、IBM PowerVM®、Kubernetes、Docker などの仮想化サーバー環境をサポート

わずか 5% のフラッシュ・ストレージでパフォーマンスが 3 倍向上し、⁴ IBM Spectrum Control™ と連携することで最大 63 パーセント人件費と管理コストを削減し、ストレージ使用率が最大 100 パーセント向上するといったメリットを実現できます。²

IBM Spectrum Virtualize のメリット

IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアがもたらす先進的なメリットにより、ストレージ・インフラストラクチャーが主に 3 つの方法で改善されます。

データの価値の改善

IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアにより、アプリケーションの使用率が上がり、アプリケーションが加速化してビジネスの知見を迅速に生成できるので、データ保存のコストが低減します。ソリューションは次のことを実現することで、これらのメリットを達成します。

- データ削減テクノロジーを使って、同じ領域に保存できるデータ量を最大 5 倍アップ
- クラウド・ストレージの迅速な導入で災害復旧に対応するとともに、ローカル・データのコピーを IBM Spectrum™ Copy Data Management ソフトウェアで保存
- IBM Spectrum Control を使って定義するポリシーを基に、最適なタイプのストレージにデータを移動して、ストレージを最適化
- データでより多くの成果を得られるように、ストレージ性能を改善
- シン・プロビジョニングを利用することで、物理領域を節約

データ・セキュリティの向上

IBM Spectrum Virtualize を使用すると、データの保護、アプリケーションのモビリティ、災害復旧を含む高可用性戦略を実現しながら、盗難や不適切な漏洩からデータを保護できます。ソリューションは次のことを実現することで、これらのメリットを達成します。

- ソフトウェアベースの暗号化を使って、データ・セキュリティを改善
- データのコピーを完全に二重に作成し、データセンター間のスイッチオーバーを自動化することで、データの可用性を改善
- 各種ストレージ間でデータを無停止で移動して、ストレージのダウンタイムを排除
- VMware Site Recovery Manager v6.0 との統合により、VMware 環境での災害復旧を完全サポート

データの簡素性を強化

IBM Spectrum Virtualize により、選択したインフラストラクチャーに左右されずにデータ戦略を立てて、異機種ストレージに対して緊密に統合した機能と一貫した管理を実現できます。ソリューションは次のことを実現することで、これらのメリットを達成します。

- VMware vCenter などの仮想化ツールと統合することで、ストレージを自動的にプロビジョニングし、新しいストレージ技術を容易に導入して、敏捷性を改善
- サポート対象ストレージを Kubernetes および Docker コンテナ環境に展開することが可能
- ハードウェア・ベンダーに関係なくストレージを統合して、管理を簡素化し、一貫した機能を提供し、効率性を改善
- 各種ストレージ・タイプで共通の機能をサポートし、ストレージ・インフラストラクチャーにおいて複数のベンダーを受け入れることで、柔軟性を実現

物理インフラストラクチャーでソフトウェア定義型ストレージを作成するため、IBM Spectrum Virtualize が提供するソフトウェア・レイヤーにより、さらに多くのサービスをより迅速、効率的に提供し、リアルタイムのビジネス知見を抽出し、顧客とのコミュニケーションを増やすことで、ビジネス上の大きなメリットを実現できます。迅速で柔軟なプロビジョニング、簡単な構成変更、ストレージ階層間の無停止でのデータ移動、単一のユーザー・インターフェースにより、ストレージ・インフラストラクチャーがより簡素化し、費用対効果が上がり、管理しやすくなります。

ストレージの可視性、知見、コントロールを獲得

データはビジネスで利用するリソースとして非常に貴重なものです。ストレージ・システムはそれよりもさらに重要です。

IBM Storage Insights と IBM Storage Insights Pro は、ストレージの耐用年数の間ずっと、操作性を強化する重要な機能を提供し続けます。

- 単一ダッシュボードにより、IBM ブロック・ストレージの全ステータスを一目で把握
- 容量とパフォーマンスの傾向に関する情報を把握することで、より多くの情報に基づく優れた決断を下すことが可能
- ストレージ正常性情報により、ベスト・プラクティスに合わせて構成を調整
- サポートが必要な場合は、チケットを簡単に開いて、ログ情報をアップロードし、対応中のチケットを表示することが可能
- IBM スペシャリストに詳細な構成データが提供され、チケットを迅速に解決

IBM Cloud™ から無料サービスとして提供される Storage Insights は素早く簡単にセットアップでき、継続的なソフトウェア・メンテナンスが不要です。Storage Insights Pro は Storage Insights のアップグレード版で、より詳しい情報と追加機能を提供します。

実証済みのメリット、新たな展開

IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアのメリットは、数々のインストール環境で実証済みですが、x86 ベース・サーバーでこのソフトウェアが使用可能になったことで、ハイブリッド・クラウド環境とホスト・プライベート・クラウドに新たな機会がもたらされます。

IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアは、クラウド・インフラストラクチャーの主要な実現技術であり、クラウドに必要な効率性と柔軟性を実現します。企業、サービス・プロバイダー、またはソリューション・インテグレーターはこの IBM ソリューションにより、サーバーを導入し、各種ソフトウェアをインストールすることでサーバーが担う役割を決定できます。サーバー仮想化ソフトウェアを使用することで、サーバーはコンピューティング・エンジンになりますが、IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアを使用すれば、これらのサーバーをストレージに変えることができます。ニーズの変化に応じて、サーバー上で稼働するソフトウェアを変更すれば、サーバー・タイプのバランスを簡単に変えられます。そのような環境では、クラウド・インフラストラクチャーの柔軟性が増し、購入と導入が合理化されます。

同様に、サービス型ストレージ・プロバイダーやコロケーション・データセンターを使用している企業は、IBM Spectrum Virtualize を x86 サーバーに導入して、サービス・プロバイダーが自社データセンターで享受しているのと同じメリットをそのサイトで体験できます。IBM Spectrum Virtualize により、プロバイダーが使用しているストレージのタイプに関係なく、ストレージ管理をオンプレミス・データセンターで管理するように、サービス・プロバイダーのサイトで実行できます。IBM Spectrum Virtualize で構築したオンプレミス・ストレージからクラウド・ストレージへのレプリケーションがより容易かつ柔軟になります。

データ管理の改善、保護、簡素化

ある施設のストレージを別の施設のほぼ同一のストレージにただコピーすることで、データ・レプリケーションを行う従来の手法は、今日あまり使われなくなってきています。この手法だと、ストレージのコストが基本的に倍になるからです。企業が情報よりもインフラストラクチャーに重点を置いて、大抵はコストを度外視し、インフラストラクチャーでサポートするはずのビジネスの役割を十分に発揮させないという時代は終わりです。代わりに、今日の企業はもっといい方法でデータを保存、管理、保護、使用したいと望んでおり、そのような方法には、プライベート・クラウドやハイブリッド・クラウドがあります。ハイブリッド・クラウドの場合、オンプレミスとクラウド・ストレージを組み合わせ、低コストで柔軟性を高めることができます。IBM Spectrum Virtualize は、継続的なミラーリングとスナップショットを利用するハイブリッド・クラウド構成など、この課題に対応する新しいソリューションを提供します。

IBM が選ばれる理由

IBM Spectrum Virtualize は IBM Spectrum Storage™ ファミリーのソリューション・メンバーです。その中には、分析主導型データ管理用の IBM Spectrum Control、保護の最適化とバックアップ・コストの軽減を実現する IBM Spectrum Protect™、データを高速保持する IBM Spectrum Archive™、クラウドベースのストレージを迅速に導入する IBM Spectrum Accelerate™、非構造化データ用に非常にスケーラブルな高性能ストレージを提供する IBM Spectrum Scale™、コピー管理を簡素化する IBM Spectrum Copy Data Management も含まれます。

IBM Research は、ストレージの管理機能と最適化機能など、ソフトウェアとハードウェア双方におけるストレージ技術開発のリーダーです。データを最大限に活用するために、IBM は分析、コンテンツ管理、データベース用に業界最先端の機能を提供します。何千ものお客様のビジネスを支える 40 以上のグローバル・データセンターを擁する IBM は、クラウドベースのストレージおよびコンピューティング・サービスの主要プロバイダーです。

IBM Spectrum Virtualize の概要

	SVC または Storwize ファミリー・システムの一部としての IBM Spectrum Virtualize	IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアのみ
オプション機能	<ul style="list-style-type: none"> 別途購入 	<ul style="list-style-type: none"> すべて込み
ライセンス交付方法	<ul style="list-style-type: none"> TB (SVC) またはエンクロージャーあたり (Storwize ファミリー) の段階的なコスト 永続ライセンスと月単位のライセンスのオプション 	<ul style="list-style-type: none"> 容量あたりのシンプルでフラットなコスト 永続ライセンスと月単位のライセンスのオプション
プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> SVC または Storwize ファミリーのプラットフォーム上にインストール 	<ul style="list-style-type: none"> サード・パーティー製 x86 プラットフォーム上にインストール
ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> 統合システムとして稼働 	<ul style="list-style-type: none"> サポートされている x86 サーバー上で稼働
ライセンスの移植性	<ul style="list-style-type: none"> SVC エンジン間で移動可能 Storwize ハードウェアに結合 	<ul style="list-style-type: none"> サポートされている各種 x86 サーバー間で移動可能
信頼性、可用性、保守性 (RAS)	<ul style="list-style-type: none"> 統合 RAS 機能 IBM Storage Insights 	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な RAS:サーバー・ハードウェア診断、ソフトウェア RAS IBM Storage Insights
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェアとソフトウェアへの IBM のサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアに対する IBM のサポート ハードウェア・ベンダーが保守するハードウェア
サポートされるサード・パーティー製ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> 該当なし 	<ul style="list-style-type: none"> Lenovo System x3650 M5 Supermicro SuperServer 2028U-TRTP+
サポートされるストレージ・システム	<ul style="list-style-type: none"> 440 種以上の IBM 製および他社製ストレージ・システム 	<ul style="list-style-type: none"> 440 種以上の IBM 製および他社製ストレージ・システム
<p>相互運用性に関する最新情報については、以下の IBM System Storage Interoperation の Web ページを参照してください。 ibm.biz/Interoperation</p>		

詳細情報

IBM Spectrum Virtualize ソフトウェアと IBM Spectrum Storage ファミリーのストレージ・ソフトウェア製品の詳細については、IBM 営業担当者または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/us-en/marketplace/virtualization-software

さらに、IBM グローバル・ファイナンスは多数の決済方法をご用意して、ビジネスの成長に必要なテクノロジーを購入できるようにお客様を支援します。ご購入から処分まで、IT 製品とサービスの完全なライフサイクル管理を提供します。詳細については、次の Web ページをご覧ください。 ibm.com/financing/jp/



© Copyright IBM Corporation 2018

IBM Systems
New Orchard Rd
Armonk, NY 10504

Produced in Japan May 2018

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Spectrum Virtualize、Easy Tier、FlashCopy、HyperSwap、IBM FlashSystem、IBM Spectrum Accelerate、IBM Spectrum Archive、IBM Spectrum Control、IBM Spectrum Protect、IBM Spectrum Scale、IBM Spectrum Storage、Real-time Compression、Spectrum、Storwize、および VersaStack は、多くの国の司法機関で登録されている International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または他社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/legal/copytrade.shtml でご覧いただけます。

Microsoft は、米国、その他の国、またはその両方における Microsoft Corporation の商標です。

本資料は最初の発行日の時点において最新の内容であり、IBM によって予告なしに変更される場合があります。本資料に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。

本資料の性能データは、特定の運用条件下で得られた結果を表します。実際の結果は、異なる可能性があります。

他社の製品またはプログラムと IBM の製品またはプログラムを併用した場合の操作の評価および検証は、お客様の責任で行ってください。

本資料の情報は「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性に対する保証、および非侵害の保証または条件を含め、いかなる明示的または黙示的な保証も行いません。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

ストレージ容量は、非圧縮データと圧縮データの両方について記載する場合があります。実際に使用可能な容量は、さまざまな要因により変動するため、記載された値よりも少ない場合があります。

- ¹ “Voice of the Enterprise: Storage” 451 Research, 2016.
<https://451research.com/customer-insight-voice-of-the-enterprise-overview>
- ² IBM 社内測定値に基づく - 2017 年 4 月。
- ³ IBM ラボによる測定値 - 2012 年 4 月。
- ⁴ IBM Easy Tier テクノロジーを使った IBM ラボの測定値 - 2010 年 8 月。



Please Recycle

